

会員各位

## 令和6・7年度日臨技会長選挙について

令和6・7年度日臨技会長選挙が公示されました。  
九州支部は、日本臨床衛生検査技師会前副会長の横地常広氏を推薦する事に致しました。

横地常広氏はスローガンである「日臨技を再考し会員とともに挑む」を掲げ、臨床検査技師の将来のために様々な取り組みを構築されておられます。

この先「団塊の世代」800万人以上が75歳以上になる超高齢社会が訪れるため、社会保障の見直しや医療改革が行われる「2025年問題」や日本の高齢者（65歳以上）の割合の最大化と生産年齢人口の急減が同時進行で起こり、国内経済や社会維持が危機的状況に陥るとされている「2040年問題」が私達を待ち受けております。

このような状況の中、私達、臨床検査技師を取り巻く環境もこの先、大きく変わって行くものと思われます。横地氏は、このような状況を鑑み、私達臨床検査技師が進むべき方向を分かりやすく明確に提言されています。公約の詳細につきましては、日臨技のHPへ掲載されておりますので、ご一読下さい。

これから数十年先までも、臨床検査技師として医療の第一線で活躍していくためにも是非、横地先生に日臨技の舵取りを行って頂きたいと思います。

九州支部は横地常広氏を推薦致します。

九州支部支部長（倉重康彦）

鹿児島県会長（有村義輝）・沖縄県会長（手登根稔）・熊本県会長（田中信次）  
宮崎県会長（花牟禮富美雄）・大分県会長（丸山晃二）・佐賀県会長（平野敬之）  
長崎県会長（門脇和秀）・福岡県会長（外山洋子）

## 日臨技会長候補者選挙立候補者 長沢光章からのお願い



私は、職能団体として「学術の強化と次世代へ繋ぐ」を公約に、現執行体制の発展的継続を目指し、会員の皆様と共に新しい流れを作っていくために、日臨技首都圏・関甲信支部の1都8県からの推薦を得て、令和6・7年度会長候補者として立候補いたしました。また、会員や関連団体の方々、臨床検査医の先生方とも一緒になってこの業界のために力の限り尽くしていこうと日頃から話しています。どうか、私に皆様の貴重な一票を投票してください。よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 代表理事・副会長 長沢 光章

## 日臨技首都圏支部・関甲信支部は長沢光章氏を推薦します

私ども日臨技首都圏支部・関甲信支部は、所属する1都8県臨床検査技師会との合意で、令和6・7年度日臨技会長候補者として長沢光章氏を以下の理由で推薦しました。

- ・現在、執行部で次年度事業計画を立案中である。これは、第四次マスタープランの成果を検証しつつ、第五次マスタープランとして次の日臨技の方向性を決める重要なものであり、一年二年で成しえるものではない。よって計画の責任者である宮島会長の意を十分に理解し継続して共に歩んできた現日臨技代表理事副会長である長沢光章氏が受け継がなければ絵に描いた餅で終わる可能性が高い。
- ・臨床検査技師の地位向上のため、また、臨床検査技師を取り巻く環境が厳しさを増す未来医療の中で力を発揮していくには、更なる法改正や診療報酬の改定が必要となる。それには日本臨床検査技師連盟の代表であり、日臨技の諸活動に理解を示し強力な支援並びに助言を頂ける日本臨床検査医学会をはじめとする他関連団体との連携を推進してきた長沢光章氏の存在が重要である。
- ・IFBLS学会の誘致が決定した中で、日臨技の組織力を海外に説明し、IFBLSの全ての理事の賛同を得ることに成功した中心人物である長沢光章氏が開催までの牽引者にならなければ世界に顔向けができない。

以上のような理由から、次期会長に相応しい人物として、現日臨技代表理事副会長である長沢光章氏を推薦します。

日臨技首都圏支部（杉岡陽介支部長）／東京都（原田典明会長）・神奈川県（芹澤昭彦会長）  
千葉県（綿引一成会長）

日臨技関甲信支部（林 和樹支部長）／埼玉県（神山清志会長）・茨城県（根本誠一会長）  
栃木県（内田雄二会長）・群馬県（井田伸一会長）  
山梨県（多田正人会長）・長野県（中山朋秋会長）

## 私たちも長沢光章氏を推薦します

- ・坂本秀生（日本臨床検査学教育協議会理事長）
- ・宮本仁志（日本臨床微生物学会副理事長）
- ・常名政弘（日本検査血液学会副理事長）
- ・宿谷賢一（日本臨床一般検査学会常務理事）
- ・清宮正徳（日本医療検査科学会副理事長）
- ・奥田 誠（日本輸血・細胞治療学会理事）
- ・堀田多恵子（全国国立大学臨床検査技師会会長）、小野佳一（同副会長）
- ・宮城博幸（私立医科大学臨床検査技師会会長）
- ・山口佳美（日本赤十字社臨床検査技師会会長）、野瀬和彦（同副会長）
- ・上田克彦（チーム医療推進協議会代表、日本診療放射線技師会会長）
- ・多くの会員、臨床検査医の先生方、関連団体等の皆様からも推薦をいただいております。

会員各位

長崎県臨床検査技師会  
会長 門脇 和秀

## 令和6・7年度日臨技会長選挙について

令和6・7年度日臨技会長選挙が公示されました。

立候補されたのは、横地常広氏（日臨技前副会長）、長沢光章氏（日臨技現副会長）の2名です。九州支部は早期に横地氏と意見交換などを行い、立候補の決意や改革への意気込みについて話を聞く機会を持ちました。私は、「臨床検査技師の将来のため、日臨技をより良いものに改革したい」という横地氏の熱い思いを感じました。結果として、九州支部は、各県の会長名と支部長名で横地氏推薦を表明しています。（長臨技ホームページに掲載）

そこで、長臨技としてどうするかについて、令和5年度第6回常任理事会において検討した結果、長臨技として横地常広氏を推薦する事に致しました。

横地常広氏はスローガンである「日臨技を再考し会員とともに挑む」を掲げ、臨床検査技師の将来のために様々な取り組みを構築されておられます。

この先「団塊の世代」800万人以上が75歳以上になる超高齢社会が訪れるため、社会保障の見直しや医療改革が行われる「2025年問題」や日本の高齢者（65歳以上）の割合の最大化と生産年齢人口の急減が同時進行で起こり、国内経済や社会維持が危機的状況に陥るとされている「2040年問題」が私達を待ち受けております。

このような状況の中、私達、臨床検査技師を取り巻く環境もこの先、大きく変わって行くものと思われます。横地氏は、このような状況を鑑み、私達臨床検査技師が進むべき方向を分かりやすく明確に提言されています。公約の詳細につきましては、日臨技のHPへ掲載されておりますので、ご一読下さい。

最終的には会員各自の判断になりますが、どちらにしても必ず投票  
するようにしてください。私たちの将来を託す大きな1票です！